

# 常にゼロから考え、 新しい価値を創造します。

Kazuo Kashio  
代表取締役社長 梶尾 和雄

1957年、カシオは計算機の開発によって創業しました。小型で高速な計算機を提供することで、オフィスの事務を効率化し、やがて個人にも電卓を普及させました。計算の作業は誰にでも手軽にこなせるようになり、人は創造的に考えることに集中できるようになりました。その後も、計画し行動するのに不可欠な時計、幅広い知識を学べる電子辞書、誰にでも演奏が楽しめる電子楽器、一瞬の感動をとらえるデジタルカメラといった、人間の考える力や創造性を支える製品を開発しています。こうして人々の知的創造を支援する製品を提供することが、カシオが社会で果たすべき役割だと考えています。

カシオの経営理念は「創造 貢献」。つまり、それまでになかった新しい製品やサービスを生み出すことで、人々の生活に役立つという意味です。決して人まねをせず、ゼロから考えて、新しい価値を生み出す「0→1」が一貫したカシオの開発姿勢です。人々にとって本当に必要なことは何か、それを徹底的に考え抜くことにより、誰も気づかなかったような独創的な機能を、ユーザーに提供し続けています。

カシオは1960年代から海外で製品を販売しており、世界中で高い知名度を持つCASIOブランドの他にも、多くの製品ブランドを持っています。現在、これらのブランド資産を基盤として、それぞれの製品を世界各地の市場により深く浸透させていくことを目指しています。2012年には、成長著しい新興国に向けた展開として、ブラジルで本格的な直販を始めました。また、生産能力の増強に向けてタイの新工場を稼働させるなど、世界中に滞りなく高品質な製品を供給できる、効率的な生産体制の構築にも取り組んでいます。

世の中には、まだ掘り起こされていない、潜在的な需要が無限に存在します。新たな必要を発見し、まったく新しい市場を生み出していくことが、自社のみならず、社会全体にも利益をもたらします。そして、新たな価値を創造し、多様で豊かな未来を切り開くことが、持続可能な社会を実現し、人類がともに発展していく道だと考えます。これからもカシオは技術を磨き、自らを革新しながら、人類の進化に貢献をしていきます。

